



真庭市立月田小学校 学校だより

# 大門坂



夏の大門坂



学び続け、豊かな心を持ち、  
たくましく生きる子どもの育成  
<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/82/>

第46号  
令和3年 8月30日  
校長 清友 尚 発行  
月田小学校  ←

## 2学期が始まりました

緊急事態宣言下での東京オリンピック開催、私たちに多くの感動を与えてくれ閉幕しました。24日からは東京パラリンピックが開催されています。始業式では児童にオリンピックで思い出に残った場面を聞いてみました。

猛暑、そしてそれに続く大雨・洪水警報と避難所の開設…今年の夏休みには極端な天候の変化がありました。毎年全国のどこかで発生する河川の氾濫、浸水地域の上空からの映像を見るたびに鬱々とした気分になります。今回避難所の開設にかかわってくださった皆様、大変お疲れ様でした。

「八月や 六日九日十五日」

連日報道されるコロナや大雨のニュースのなかで、埋もれてしまいそうな扱いだったかもしれませんが、今年は終戦から76年目の夏。この句は半藤一利著『歴史探偵 忘れ残りの記』にあったものですが、その作者は未詳、それでも76年前の日本敗戦を体験された老齢者ではないかとのことです。昭和は遠くになりましたが、継承しなければならない歴史は枚挙に暇がありません。戦争を知らない世代が同じく知らない世代に引き継ぐことの重要性を、今改めて考えます。

さて、新たな緊急事態宣言の下、2学期が始まりました。早速運動会の練習が始まります。学習発表会や延期されていた四国への修学旅行、未だ新型コロナの収束が見通せない状況ですが、悩みながらの学校経営が続きます。引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



## 7/28 校内水泳記録会

6月14日から始まった今年のプール指導は、7月28日の校内水泳記録会をもって終了しました。例年なら奨学会のプール開放を行うところですが、昨年に続きやむなく中止させていただいたところです。

どの児童も、シーズン当初に比べて飛躍的に距離を伸ばすことができます。記録証を用意していますから、楽しみにしておいてください。



なすことができました。新型コロナの収束が見通せない状況ですが、今後の複式学級への対応を含めて、1泊2日の内容を検討していきます。



## 第3回奨学会運営委員会報告

8月19日(木)に第3回奨学会運営委委員が開催され、コロナ禍への対応として、次の内容が確認されました。ただし、今後の状況を見ながら対応していきたいと思えます。委員の皆様、お疲れ様でした。

1 来年度のプール開放  
可否の決定時期を遅らせる。消防署職員を招いての救命救急法講習ができないなか、講習の実施方法を含めて検討していく。

## 7/30~31 山の学習

7月30日(金)~31日(土)、5年生は津黒高原に山の学習に行きました。暑い2日間でしたが、予定していた日程を全員元気にこ

## 2 運動会について

- ・来賓や参観者は、月田地域在住の方に限らせてもらいたい。各家庭には参加者名簿を提出していただく。
- ・児童・保護者の演技中は、身体へのリスクを考慮しマスク着用を求めない。ただし、親子演技の時の保護者にはできるだけマスクを着用していただく。
- ・テント下では、マスクをして拍手で応援する。
- ・保護者のテント設営は距離をとる。
- ・教職員はすべてマウスシールドかフェイスシールドを着用する。

## 3 学習発表会

昨年度同様、児童の入替を行うが、リモートを使い教室で発表が見られる環境を整える。

## 4 諸行事

- ・10/21軽スポーツを楽しむ会→中止
- ・11/26第4回運営委員会→書面開催
- ・12/ 5真庭人権・教育講演会→講師未定、入場制限をして開催の予定
- ・忘年会、新年会→中止

### お知らせ

田中養護教諭が休暇を取る後任に、2学期から富原在住の元養護教諭 家原緑さんが来られます。よろしくお願いたします。

## 9月の行事予定

1日 (水)	体重測定(低)/校内研修
2日 (木)	A L T来校
3日 (金)	教育相談
6日 (月)	児童朝礼/わくわく/代表委員会
7日 (火)	司書来校
15日 (水)	運動会予行
16日 (木)	A L T来校
17日 (金)	運動会準備
19日 (日)	月田小学校・保育園運動会 (8:55 開会)
20日 (月・祝)	敬老の日
23日 (木・祝)	秋分の日
24日 (金)	読み聞かせ
27日 (月)	児童朝礼/わくわく/クラブ
28日 (火)	後期縦割り班顔合わせ/司書来校
30日 (木)	1・2年ほっと月田交流会

※ 月田小学校HPにも、2か月分の行事予定を掲載しています。

## トピック校長室③

### 帰省

平成12年にリリースされた中島みゆきさんの「帰省」という楽曲があります。その歌詞を紹介します。

遠い国の客には笑われるけど  
押し合わなけりゃ街は 電車にも乗れない  
まるで人のすべてが敵というように  
肩を張り肘を張り 押しのけ合ってゆく

※けれど年に2回 8月と1月  
人ははにかんで道を譲る 故郷(ふるさと)からの帰り  
束の間 人を信じたら  
もう半年がんばれる

機械たちを相手に言葉は要らない  
決まりきった身ぶりで街は流れてゆく  
人は多くなるほど 物に見えてくる  
ころんだ人をよけて 交差点(スクランブル)を渡る

※2回繰り返し

昔買ったアルバム『短篇集』に収録されていたのを偶然聴き、8月と1月の帰省が都会に暮らす人達にとって特別な意味を持つことを改めて思いました。今年の8月、ふるさと月田に帰省したくても自粛された方もいらっしゃるかもしれませんが。今は一日も早い新型コロナの収束を願うばかりです。そして、児童が成長し帰省を体験する年代になった時、月田は変わらず、半年分のエネルギーを与えてくれる、そんなふるさとのままであり続けてもらいたいと思っています。

「帰省」…中島みゆきさんの哀愁に満ちた歌声を、ぜひYouTubeで聴いてみてください。



中島みゆき「短篇集」